

3. 愛知万博の事業構想

- 事業構想の基本的な考え方

「自然の叡智」を巡る多様な知恵と文化を持ち寄る 『地球大交流博覧会』

文化・文明の多様性を体験・共感する。

国や国際機関の幅広い参加は勿論のこと、地球規模での活動を展開する NPO / NGO や企業及び市民など、地球社会の多様な構成員の参加で、文化・文明の多様性の意味と価値を体感できる博覧会とする。

地球規模でのムーブメントを創出する。

愛知万博のテーマと関連する国際的な活動との連携や、国際諮問委員会によるテーマの深化と新しい万博運動への貢献プログラムを積極的に展開して、愛知万博から発信する地球規模でのムーブメントを創出する。

産・官・学・市民のコラボレーションによる新たな社会実験の場とする。

人類と地球の持続可能な共生に向け、地球社会やコミュニティモデルなどの多彩な社会実験に挑戦する場として、産・官・学・市民のコラボレーションによるプロジェクトを積極的に推進する。また、国や各種研究機関が推進する各種プロジェクトや実証試験も積極的に取り入れる。

参加体験学習（ラーニング・エクスペリエンス）の機会と場を多彩に創造する。

愛知万博は、「モノ」だけでなく「コト」が溢れ、単に「見る」だけではなく、「参加・体験」することの楽しさを徹底的に追求する。特に、次代を担い、これからの地球社会を生きる青少年に向けて、素晴らしい地球市民になるための参加体験学習（ラーニング・エクスペリエンス）の機会を充実させる。

日本の文化観光交流立国への歩みを加速させる。

愛知万博を契機に日本中、世界中から訪れる観光客に対し、愛知万博のテーマと連動した交流の場や、中部地域の特色であるモノづくりを多彩に楽しむ産業文化観光など、自然、歴史文化など地域の特色を生かした観光プログラムの充実をはかる。日本の文化観光交流立国への歩みを愛知万博の開催と連関させて加速化させる。

■ 愛知万博の参加構造

主要な参加の形式		主要な出展参加方法
公式参加	国 国際機関	● 公式参加国の可能な限り多くの参加を目指し、多様な文化・文明交流博としての質と規模を実現する。 ● より多くの国際機関の公式参加を促進し、愛知万博のテーマ性をより高める工夫をする。 ● モジュール単位によるパビリオン出展参加 ● エリアやブロックごとの魅力的な共有空間や演出空間づくりへの参加 ● パビリオン出展に併せ、ナショナルデー、屋外展示、催事、国際会議等のパビリオン出展以外の参加
日本政府		● 日本政府による愛知万博のホスト国としての出展参加
一般参加 (含む海外)	自治体	● ホスト役としての愛知県や名古屋市等地元自治体の参加 ● 広域圏規模での自治体の参加
	企業 団体	● パビリオン出展参加、協会企画事業参加など多彩な選択肢 ● 団体・組織の多様な参加
	NPO / NGO 市民	● 市民が自ら企画・運営する実行組織の設置 ● 積極的なボランティア参加 ● 国際的なNPO、NGOの参加による「地球市民村」の展開
営業参加		● テーマ営業参加(博覧会のテーマや出店者の自主テーマに合わせた営業参加) ● 一般営業参加(物販飲食営業参加 / 公式記念品営業参加等) ● 有料サービス参加